

2018年10月25日

課題名：小児における適切な挿管チューブサイズに関する研究

◆研究の目的と概要◆

小児における気管挿管チューブサイズ選択について、年齢、身長や体重を用いた予測計算式が多数報告されています。当院では、それらの式が小児におけるチューブサイズの選択について適切であるかを検証します。そして年齢に加え、身長や体重も関連させてチューブサイズ選択をする方法を調べることによって安全な気管挿管を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2013年11月1日～2018年10月30日までの間に、全身麻酔下手術において、気管挿管を行われた6歳未満の方

◆研究に使用される情報◆

電子カルテ記載記録（年齢、性別、身長、体重、X線写真情報など）、麻酔記録

◆研究方法◆

本研究は手術時の麻酔記録と電子カルテ記載記録を利用します。患者さんに適すると予測されたチューブサイズと、実際最終的に気管挿管に用いられたチューブサイズとの差や比を求めます。また小児の成長曲線から、患者さんの実身長と実体重に相当する標準年齢（月齢）を割り出し、それらを用いて予測されたチューブサイズについても、同様に評価します。それらの差や比から、最も適切なチューブサイズの選択方法について検証します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
麻酔科 研究責任者 豊田 浩作

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明